

放送大学 ライブラリー講演会

『枕草子』の現代性

『枕草子』は有名な古典ですが、多くの人々に読まれるようになったのは、江戸時代以降です。近代になると、樋口一葉・白洲正子・森茉莉など、個性的な文学者たちが、清少納言に共感しています。今や「カワイイ」は、世界に通じる言葉です。実は、その源流に位置するのが『枕草子』なのです。平安時代の華やかな宮廷を生きた清少納言を、自由に闊達な「自分らしい人生」を実現した先達として、捉え直してみませんか。



講師 島内裕子 (放送大学教授)

専攻は、国文学。『徒然草』をライフワークとするが、『方丈記』などの住まいの文学や、森鷗外などの近代文学、吉田健一・森茉莉などの現代文学も研究対象としている。昨年4月に、ちくま学芸文庫から『枕草子 校訂・訳』上下を上梓した。

『徒然草』の影響力を日本文学・日本思想・日本美術・海外への影響まで含めて論じた『徒然草文化圏の生成と展開』によって、東京大学から博士（文学）を受ける。

昭和54年 東京大学文学部国文科卒業
昭和62年 東京大学大学院博士課程修了
平成3年 放送大学助教授
平成21年から 放送大学教授

主な著書

『徒然草 校訂・訳』 『枕草子 校訂・訳』（ちくま学芸文庫）
『兼好 露もわが身も置きどころなし』（ミネルヴァ日本評伝選）
『徒然草をどう読むか』 『方丈記と住まいの文学』（左右社）

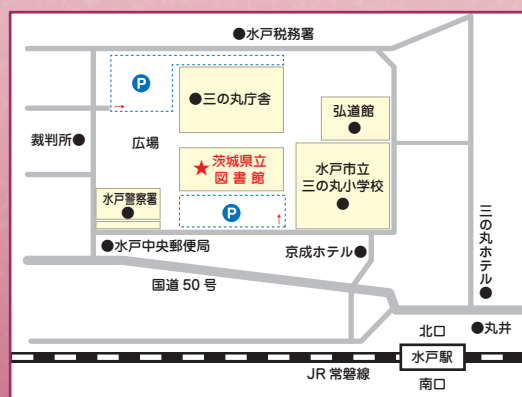
2018

6月16日 土

14:00 ~ 16:00

茨城県立図書館
2F 視聴覚ホール

主催：放送大学茨城学習センター
茨城県立図書館



〒310-0011 茨城県水戸市三の丸1丁目5番地38号

※事前の申し込みは必要ありません。どなたでもご自由にお聞きいただけます。（ただし先着200名）

放送大学 茨城学習センター

お問い合わせ

TEL:029-228-0683

〒310-0056 水戸市文京2-1-1（茨城大学構内）